

公益財団法人  
栃木県ひとり親家庭福祉連合会

宇都宮市野沢町4-1  
☎ 028(665)7806

発行人 栗橋幸子  
印刷所 高橋平版社

# 白梅

## 令和三年度 ひとり親家庭福祉研修大会

七月四日(日)とちぎ男女共同  
参画センター 研修室三〇一に  
於いて令和三年度 ひとり親家  
庭福祉研修大会を開催しました。  
昨年はコロナ禍の為中止にな  
りましたが、今年度は一日開催  
とし人数を制限し開催しました。

研修内容は「フードバンクと  
組織づくり」を茨城県母子寡婦  
福祉連合会 境洋子会長に、「フ  
ードバンクの活動について」を  
NPO法人フードバンクうつの  
みや 徳山篤氏に、その後意見  
交換会を行いました。

### 参加者の声

#### ひとり親家庭福祉研修 大会に参加して

小山市 赤荻ミサ子

コロナウイルスに翻弄され  
様々な行事が中止となった中、  
参加人数を制限したなかで大会  
が開催され、有意義な研修が出  
来ました。

「フードバンクと組織作りに  
ついて」茨城県母子寡婦福祉連

合会、境洋子会長に講演をして  
頂きました。立ち上がるまでに  
は、ボランティアの確保、公平  
に支給するための決まり事など  
細かい準備が必要なことなど、  
大変参考になる話を聞く事が出  
来ました。

#### 「フードバンクの活動について」

フードバンクうつのみやの徳  
山篤氏により、食品ロスの観点  
から必要なことである事。フ  
ードバンクとは、食べられるのに  
捨てられてしまう食品を、必要  
としている人達に届ける活動で  
ある事。活動するにあたっては、  
賞味期限、無償で頂き無償で分  
配するなど気を付けなければな  
らないことが色々あるが、フ  
ードバンクによって会員が増えた  
事、又、会員同士の絆が深まる  
などの良い点もあるとのこと。  
コロナ禍の中、ひとり親に限  
らず非正規雇用の人、アルバイト  
を頑張っている学生など、窮  
地に立たされている状況のなか  
今だからこそ必要な活動である  
と改めて強く思いました。



### フードバンクってなに？



#### \*アンケート結果\* 抜粋

##### \*フードバンクと組織作り

- ・他県の活動の様子がわかり良かった。
- ・立ち上げるまでには課題が沢山ある。

##### \*NPO法人フードバンク宇都宮

- ・フードロス削減。支援としても良いことだと思いが立ち上げは大変だと思う。

##### \*意見交換会

- ・茨城県と同じように行おうとしても、運営のノウハウを知らなければ難しい。
- ・結果だけを見るのではなく勉強会も必要。

##### \*全体をとおして

- ・講演、フードバンクの活動についてとても参考になったという意見が多かった。

##### \*研修大会

- ・日帰りの方が良いという意見が多かった。

# 第27回 栃木県民福祉のつどい

令和3年8月23日(月)

栃木県総合文化センター 3階特別会議室

13:30



## 知事表彰を受けて

鹿沼市 大出 弘子

このたびは栃木県民福祉のつどいにおいて栄えある知事表彰を受けました。関係者の皆様、ひとり親家庭福祉連合会に携わってこられた多くの会員の皆様、先輩方のおかげと心より感謝申し上げます。

私は、七歳と三歳の子供と共に母子家庭となりました。その時会長さんに声をかけていただきひとり親家庭の会員になりました。会の皆様の協力で交流事業や研修会など、たくさん楽しい思い出を作ることができました。

会長さん、会の皆様に心から感謝しております。お陰様で二人の子どもも幸せな生活を送っております。

ひとり親家庭、連合会の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。ありがとうございます。



## 県民福祉のつどい 表彰者

第27回栃木県民福祉のつどいにおいて、永年の母子寡婦福祉の功勞により次の方が表彰されました。

### 《栃木県知事表彰》

母子家庭等支援功勞者

鹿沼市	大出 弘子
真岡市	南 雲 久子
壬生町	田 辺 敏 江

### 《栃木県ひとり親家庭福祉連合会長表彰》

母子寡婦福祉関係功勞者

真岡市	池 田 正 子
那須塩原市	伊 東 純 子

～ おめでとうございます ～

## 地区 だより

### 芳賀町

塩沢 敦子

残念ながら昨年度は全く行事を催す事は出来ませんでした。一昨年度に実施できた行事を報告させて頂きます。

令和元年十二月に、親子で楽しむキャラクタークッキー作りを講師の先生のご指導を受けて開催しました。皆さんとても上手で、可愛くてとても食べられない、飾っておきたい様なクッキーを作ることが出来ました。

また、令和二年二月には埼玉県にある、ムーミンバレーパークへ親子で研修旅行に行きました。幸いコロナ禍の直前で何とか行く事が出来たのは、ラッキーだったなと思っています。早く会員皆さんが集まれる日が来る事を願ってやみません。



### 那珂川町

葛西 京子

七月十四日コロナ感染予防対策をとり、那須烏山市へ日帰り旅行をしました。同市には山あげ祭りというユネスコ無形文化遺産に登録された国の重要無形文化財があります。山あげ会館にてお祭りのミニチュアを見る事が出来ました。同会館の二階大型スクリーンで写しだされる山あげ祭りは迫力があり素晴らしい映像でした。

今回、事前に烏山の会長と連絡を取り合同の研修を龍門の滝ふるさと館ですることができました。龍門の滝は水量が多く、ダイナミックでした。滝を見ながらふるさと館会議室で静かな懇親会を行い、次に烏山の会長の西原さんより「茨城のフー





「ドバンク」 「栃木のフードバンク」 現実の状況の話を聞きまし  
た。今年も、若年部と別々の行  
事で、七月十八日に若年部は夏  
休みの宿題と研修を兼ねてステ  
ンドグラスを作りました。三角  
や四角、丸い形のガラス片を並  
べてハンダでつけていきます。  
先生の手を借りながらもペンダ  
ントやロウソク立てを作りはし  
やいでいました。

また当日は母子部長による  
「母子家庭自立支援教育訓練給  
付金事業と高等職業訓練促進給  
付金事業について」の話を聞く  
ことが出来ました。

コロナが早く収束し母子と寡  
婦一緒に活動できるようにと願  
うばかりです。

## 鹿沼市

齋藤 雅世

令和二年三月十五日、埼玉県  
内の『メグミルク工場』等へ日  
帰りバス旅行のはずだった。と  
ころが「新型コロナウイルス感  
染拡大防止につき見学中止」の  
連絡が入る。

時期同じくして学校の休校や  
文化施設の休館・勿論学習支援  
で利用している市民情報センタ  
ーも貸館中止それも長期に渡つ  
て。

そんな中、市社協より自粛中  
の親子にと簡単に組み立てられ  
る「鹿沼組子コースター」を小  
学生以下のお子さんにプレゼン  
トはとて有難く感謝。

令和二年度は、市の委託でデ  
イズニールランド 優待事業をは  
じめ、県ひとり親連の研修会  
や、親子ふれあい会も中止、唯  
一、六月下旬から始める事が出  
来た学習支援は救いだつたが、  
参加者は一部の会員のみ。そこ  
で『少し早めのクリスマスプレ  
ゼント』と高校生までのお子さ  
ん九十六名に図書カード千円分  
を贈った。これで三年度事業に  
つなげられると感じた。しかし  
一月・二月に緊急事態宣言とな  
り、会活動はまた中止。  
今年度は「学習支援」を五月

より、親子ふれあい会「ワイヤ  
ークラフト」と「クリスマス  
会」を。又、初めての試みで、  
子供に手のかからなくなったお  
母さんと寡婦の会員さん向けに  
フラワーアレンジメントを三回  
シリーズで十月よりと計画。コ  
ロナが収束し安心して事業が行  
えることを願うのみです。

## 壬生町

森尻 真理

### イチゴ狩り

六月六日、日曜日、加入促進  
事業としてイチゴ狩りを開催し  
ました。曇り空の中、雨もパラ  
パラパラと降ったりやんだりで  
肌寒いくらいの天気でしたが、  
ハウスの中は暑いのでちょうど  
いい陽気でした。

毎年地元のイチゴ農家さんの  
御協力でハウスを無料で提供し  
て頂いて行っています。昨年は  
コロナウイルス流行の為中止  
となりました。今年はコロナの  
関係もあり、人数も制限しソー  
シャルディスタンスを保つての  
イチゴ狩りでしたが、箱いっぱい  
の苺を摘むことができたし  
のところはありま  
せんが継続して続  
けていけたらと思  
っております。



## ひとり親家庭の家賃支払いを支援します！

### (ひとり親家庭住宅支援資金貸付)



「母子・父子自立支援プログラム」の策定を受け、自立に向けて意欲的に取り組んでいる母子家庭のお母さん又は父子家庭のお父さんに、住居の借り上げに必要な資金を支援します。

- 要件 次の①と②の両方に該当する方
  - ① 児童扶養手当の支給を受けている方（もしくは所得が児童扶養手当支給水準の方）
  - ② 母子・父子自立支援プログラム策定※を受けている方
- 貸付額 入居している住宅の家賃の実費（月額上限4万円）
- 貸付期間 12か月まで
- 利息 無利息
- 返還免除 ご本人の取り組みの結果、安定的な就労につながった場合は、1年間の就労継続後に償還を一括して免除します。
- 連帯保証人 不要

※「母子・父子自立支援プログラム」の策定については、市にお住まいの方は市福祉事務所へ、町にお住まいの方は、管轄する県健康福祉センターへお問い合わせください。

# \*局長独言

事務局長 釜野井 康司

昨年の四月に就任してから、一年半が経とうとしています。至らぬ点が多々あったかと思いますが、ご容赦いただきたく存じます。さて、昨年からは猛威を振るって、新型コロナウイルスですが、栃木県においても、緊急事態宣言が三度、発せられるなどコロナとの戦いは当分続きそうです。一方で、ワクチンについては、接種が進みつつありますが、変異株には効かないとか、三回目の接種が必要とか、感染対策の切り札となるにはほど遠いようです。当面は、感染対策の更なる徹底を行うほかないようで、特效薬の発明が期待されるようです。

県連合会においては、昨年からは様々なイベントを中止せざるを得ませんでしたが、各市町団体も、同様の状況と聞いています。また、活動をいろいろ工夫されているところも聞きます。皆さんも、感染には十分注意して活動してください。ところで、話題は変わりますが、児童扶養手当がいつ創設されたかご存じですか？

それは、昭和三十六年（一九六一年）です。NHK古いニュースで放送していました。六十年前とは、ちよつと驚きました。私が生まれた頃です。当時はまだ戦争未亡人と言言葉も珍しくなく、今とは手当の性格もだいぶ違っていたようです。その頃、県連合会は栃木県白梅会として財団法人の認可を受けて活動しており、本会の歴史の深さを改めて感じました。そんな本会ですが、会員数が減少しています。

どうしたら若いお母さんに入会してもらえるのでしょうか？それは、入会するメリットがある会であるを知ってもらうことが重要なのではないでしょうか。私たちの会は、ひとり親と子どもとの仲間づくりや交流、情報交換を通して、生活の向上を目指しています。そのために、生活相談・育児や就労・学習支援や養育費の相談などひとり親家庭の福祉全般に関わることをしている団体です。

役所でひとり親の手続きを行うとき、役所の案内で児童扶養手当など関連の部署に案内され、手続きを行います。でも、それ以上の制度を利用する場合、自分で調べて手続きをする必要があります。

コロナ関連でも、様々な支援や給付金がありますが、制度を知っている人だけが利用できます。若いお母さんの関心事は、経済面はもちろんですが、その他に交流活動や人との繋がりを求めている人など様々です。入会していれば、ひとり親家庭への支援の情報を得ることができ、また、会員同士の交流もあります。

若いお母さんたちに私たちの活動を知っていただく広報活動が、新規会員の確保に繋がるように、私も微力ながら、お手伝いして参りたいと思います。

最後に、お盆の時期に、大雨が続き、驚きました。近年は異常気象が続き、体調を崩しがちです。皆様、くれぐれもご自愛ください。

## 家庭生活支援員養成研修受講生募集

ひとり親家庭の方が、病気や冠婚葬祭、学校行事、就職活動などで、育児に困った時に子育てをサポートする家庭生活支援員の養成研修受講生を募集します。一緒に子育てのサポートをしませんか？

### 令和4年1月から土曜日コース開催

1月15日・22日

2月5日・12日

※上記の他、保育施設での見学実習があります。

- 内容** 子育て支援に関する講義
- 対象** 5日間の講習をすべて受講できる方。家庭生活支援員として登録し子育て支援に従事できる方
- 場所** とちぎ男女共同参画センター（パルティ）及び居住地区の保育施設
- 受講料** 無料
- 託児** あり（予約制）
- 申込締切** 12月10日（金）
- お問い合わせは** 栃木県ひとり親家庭福祉連合会  
☎ 028-665-7801・7806

## ひとり親家庭サポーターのつどい

# 「危険から子どもを守るためには」

をテーマに開催します。

- 日時** 11月14日（日） 午後1：00～  
（受付開始12：00～）
- 場所** パルティとちぎ男女共同参画センター・ホール
- 内容** 講話「危険から子どもを守るためには」  
栃木県警察本部 人身安全少年課  
墨田 満氏
- 参加費** 無料 どなたでも参加出来ます。
- 託児** あり（事前にご連絡ください）

### 参加申込み・お問い合わせ

栃木県ひとり親家庭福祉連合会  
☎028-665-7801・7806



## 編集後記

コロナワクチンも始まり、皆様も少し落ちつかれたのではないのでしょうか。会の事業も少しずつ、気をつけながら始められているようです。

昨年出来なかった、研修大会も場所を変え一日開催にはなりましたが、開催出来皆様と元気に会えたこと嬉しく思います。

そして県民福祉のつどいの表彰受賞者の方おめでとうございます。これからの会の発展に尽力いただければ幸いです。

さて、コロナ禍の中でのオリンピック静かに心の中で応援されましたか？

選手の頑張り誇らしかったですね。

### 〈広報部会〉

- 瀬戸・齋藤・赤荻・橋本
- 山口・森島・高田・田口
- 大野・織田

「白梅」は、赤い羽根共同募金配分金により発行しています。